

令和7年度行政評価 施策評価シート (令和6年度実績)

施策名 医療体制の充実

施策コード 5040403

1. 施策の担当

主管課	健康福祉部 健康推進課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ

総合計画	政策	第4章 すこやかで、ひとがつながり支え合うまちづくり（支え合い・福祉・健康）	節	第4節 健康・医療
	施策	医療体制の充実		

基本方針

- かかりつけの診療所や開業医（一次医療）と手術や入院治療を中心とする医療機関（二次医療）との連携の充実に努め、地域全体で継続的かつ効果的・効率的な医療を提供できる体制を推進します。
- 母子医療や救急医療体制の維持に努め、安心して医療を受けられるための支援を行い、健康を支える環境づくりを推進します。

現況と課題

- 身近でのかかりつけ医と手術や入院治療を中心とする医療機関（二次医療）との連携や地域全体での効果的・効率的な医療の提供が必要です。
- 医師が偏在する中、安心して出産・子育てができる母子医療の確保が必要です。

施策目標

対象（誰を、何を、どこを）

市民及び医療圏住民

意図（どのような状態にしたいのか）

泉州南部の初期救急、二次救急、周産期医療体制の充実を図る。

3. 市民ニーズ

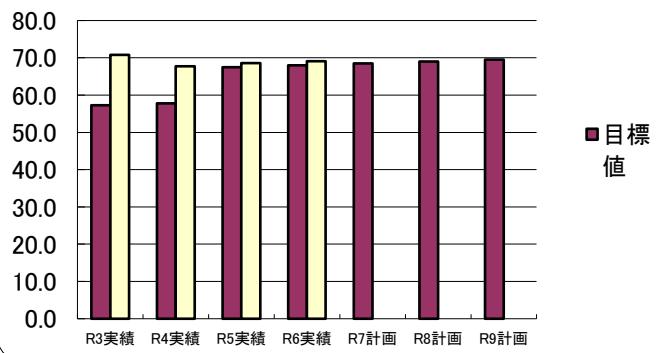
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度（偏差値）	65.3	65.3					
重要度（偏差値）	72.0	72.0					

4. 施策にかかるコスト

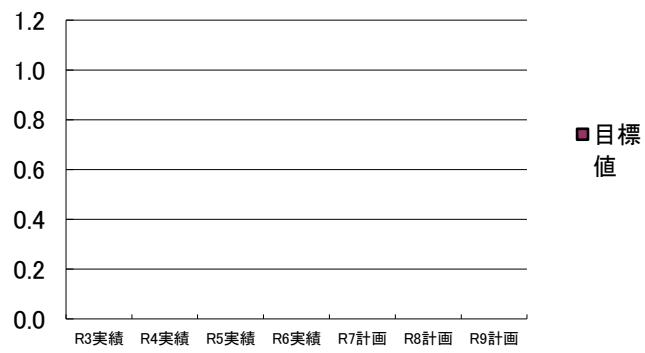
		単位	R5決算	R6決算					
コストの内訳	人件費	千円	5,956	6,347					
	事業費		129,253	181,010					
	フルコスト		135,209	187,357					
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0					
	府支出金		0	0					
	市債		0	0					
	その他		66,599	135,375					
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		68,610	51,982					
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		62,654	45,635					

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1		紹介率（りんくう総合医療センター）					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	57.3	57.8	67.5	68.0	68.5	69.0	69.5
実績値	70.8	67.7	68.6	69.1			
達成度	123.56	117.13	101.63	101.62			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
紹介率は、他の病院又は診療所からの紹介でりんくう総合医療センターを受診した患者の割合を示す指標。この指標により地域と連携した医療体制が充実されているかが分かる。		りんくう総合医療センターの中期計画等を踏まえて算定。		様々な情報の共有を図り、地域病院、診療所との連携を強化している。新型コロナウイルス感染症の診療体制確保のため予約外診察の制限及び患者自身の診察自粛により初診患者数が減少したが、R2年度～R6年度までR元年度と比較し順次、紹介患者の割合は上回っている。			
② KPI 2							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
③ KPI 3							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
④ KPI 4							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
⑤ KPI 5							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

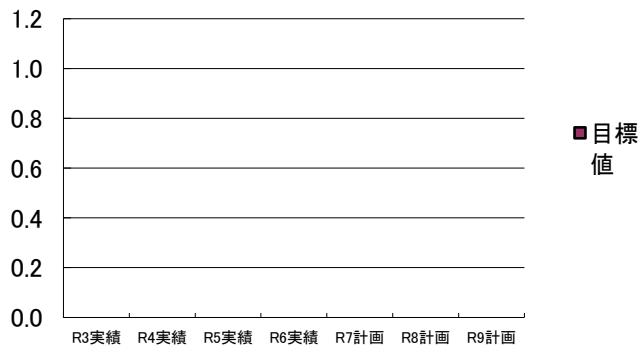
KPI①



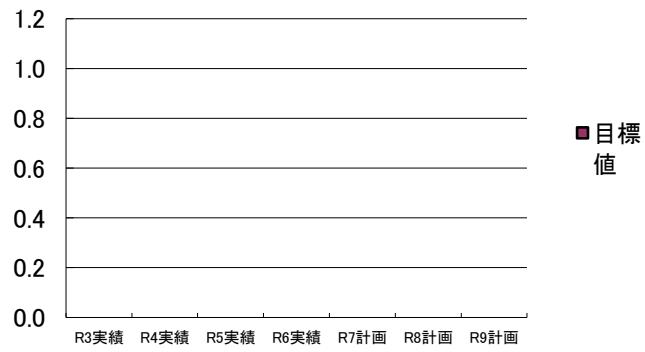
KPI②



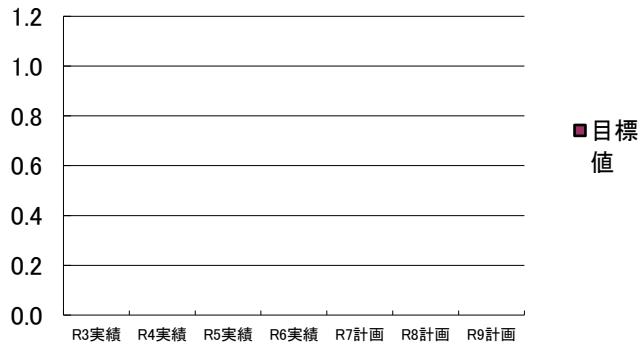
KPI③



KPI④



KPI⑤



6. 施策の事後評価

判定項目		評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	りんくう総合医療センターは財務や医療職の人材確保など運営に課題はあるものの、その解決に取り組みながら、医療水準の向上に努めている。休日夜間診療については、特に小児科医の確保が困難になってきているが、各機関の協力を得ながら、規定時間の診療を確保できた。新型コロナウイルス感染症の影響により受診者数は激減していたが、コロナ禍も落ち着いたR5年度から受診者数も増加し、R6年度も前年同程度で推移。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 3	必要性の高い施策であると考えられ、救急を含めた地域医療体制が確保された。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	休日夜間診療においては、医師不足により現状の運営体制を維持するのも困難な状況にあるが、医師会、近隣の中核病院等とも連携を図り、医師確保していく必要がある。H26年度にりんくうタウンに泉州南部初期急病センターを移設。一次・二次・三次救急医療の体制強化を図っていく。
	合計点	(10点中) 10点	
	総合評価	A	りんくう総合医療センターは、厳しい経営環境に置かれながらも、地域医療の拠点として、地域の医療機関等と連携強化を図り、高度医療を提供している。また、泉州南部初期急病センターは、地域の初期救急拠点としての役割を担うが、協力医師の確保、平日夜間の診療開始が課題であり、今後体制強化に努めていかなければならない。
二次評価（政策推進課・行財政管理課による評価）		A	市民の満足度・重要度も高く、KPIも達成しており、事業として成熟している傾向にある。今後は、新たな目標・指標の設定に努められたい。
三次評価（理事者による評価）			

7. 施策を構成する事務事業

事務事業			R6年度決算額			R7年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名		人件費	事業費	一般財源		
1 01027100	地域医療推進事業		334	91,704	50,646	0	B
2 01027110	泉州医療圏二次救急医療対策事業		167	3,941	3,941	0	B
3 01083070	初期急病センター運営事業		3,341	79,785	-14,517	0	B
4 01083080	初期急病センター施設管理事業		2,505	5,580	5,565	0	B
合計			6,347	181,010	45,635	0	

令和7年度行政評価 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業コード	030504030	予算コード	01027100	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B		
事務事業名	地域医療推進事業	正規職員数	0.04	国庫支出金	0	有効性	B	社会環境の変化に伴い、医療ニーズも刻々と変化し、それに応え得る供給体制を整備しなければならない。市民に対し、安定した医療を提供するためには、技術研究や人材の育成等を更に進めていかなければならず、引き続き、地域医療推進の中心的役割を果たす医師会等関係団体を支援し、支援の拡大についても検討していく。			
担当課	健康推進課	嘱託職員数	0	府支出金	0						
	市単独事業	臨時職員数	0	市債	0	効率性					
根拠法令等	■要綱・要領 泉佐野市地域医療研究費補助金、泉佐野市看護師養成費補助金、泉州広域母子医療センターの運営に関する覚書及び協定書	歳出(千円)	その他	41,058			該当なし				
		人件費総額	334	一般財源	50,980	妥当性	B				
				減価償却費	0						
				事業費	91,704	受益者負担	該当なし				
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	92,038	緊急性		C	事務事業実施内容				
実施手法	補助・負担	市民1人当たりコスト(円)	926				補助金及び負担金の交付について例年に引き続き実施し、地域医療の推進に貢献。また、R6年度より看護学校に対しふるさと納税を活用した補助金の交付を開始した。看護学校については、一定の入学者がおり生徒数は定員を満たす数値となった。泉州広域母子医療センターでの分娩数は増加した。				
対象	特定の団体	活動指標	R6実績	公的関与	A						
	対象数	看護学生生徒定員	120.0								
事業の内容	泉佐野泉南医師会、泉佐野泉南医師会看護専門学校、泉州広域母子医療センター	泉州広域母子医療センター負担金分担市町の総人口	352,499.0	実施主体・委託化	A						
				他の事務事業との関連	A						
事業の目的	泉佐野泉南医師会、泉佐野泉南医師会看護専門学校及び泉州広域母子医療センターへの事業補助金（負担金）の交付	成果指標	R6実績	透明性	B						
		看護学生生徒数	124.0								
		泉州広域母子医療センター負担金分担市町における分娩数	618.0	財政健全化計画	該当なし						
				財政健全化の取組	該当なし						
事業の目的	各団体へ事業補助金及び負担金を交付することで円滑な運営の促進を図る。	コスト指標	R6実績	改革改善プラン達成度	該当なし						

事務事業コード	030504040	予算コード	01027110	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B		
事務事業名	泉州医療圏二次救急医療対策事業	正規職員数	0.02	国庫支出金	0	有効性	A	慢性的な医師不足やその他の要因により、救急医療体制の維持が困難になってきている。初期救急で対応できない患者にとっては、二次救急医療体制は無くてはならないものであり、行政は、協力医療機関を継続して支えていかなければならない。			
担当課	健康推進課	嘱託職員数	0	府支出金	0						
	市単独事業	臨時職員数	0	市債	0	効率性	B				
根拠法令等	■要綱・要領 高石市から岬町までの8市4町の泉州医療圏で分担し、医療機関に対し二次救急医療対策事業運営費補助金を交付し、救急医療対策の確保を行う。（救急医療体制・・・初期救急医療：外来診療によって救急患者に対応する。二次救急医療：入院治療を必要とする重症救急患者に対応する。三次救急医療：二次救急では対応できない重篤な救急患者に対し高度な医療を提供する。）	歳出(千円)	その他	0							
		人件費総額	167	一般財源	4,108	妥当性	B				
				減価償却費	0						
				事業費	3,941	受益者負担	該当なし				
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	4,108	緊急性		A	事務事業実施内容				
実施手法	市直営	市民1人当たりコスト(円)	41				令和6年度においては、救急告示医療機関21病院及び小児救急医療機関8病院に対し、合計34,628,219円の補助金を交付した。当該運営費を各市町の人口割りにより分担し、事務費を加算した額を交付するが、当市では3,941,178円を分担した。				
対象	不特定の市民	活動指標	R6実績	公的関与	A						
	対象数	病院群輪番制運営病院数	21.0								
事業の内容	高石市から岬町までの8市4町の泉州医療圏で分担し、医療機関に対し二次救急医療対策事業運営費補助金を交付し、救急医療対策の確保を行う。（救急医療体制・・・初期救急医療：外来診療によって救急患者に対応する。二次救急医療：入院治療を必要とする重症救急患者に対応する。三次救急医療：二次救急では対応できない重篤な救急患者に対し高度な医療を提供する。）	小児救急医療病院数	8.0	実施主体・委託化	A						
		泉州医療圏の人口	875,682.0								
				他の事務事業との関連	A						
事業の目的	泉州地域の救急医療の確保。	成果指標	R6実績	透明性	C						
		病院群輪番制病院運営日数	437.0								
		小児救急医療病院運営日数	437.0	財政健全化計画	該当なし						
				財政健全化の取組	該当なし						
事業の目的		コスト指標	R6実績	改革改善プラン達成度	該当なし						

令和7年度行政評価 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業コード	030504010	予算コード	01083070	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	初期急病センター運営事業	正規職員数	0.4	国庫支出金 府支出金 市債	0 0 0	有効性 効率性	A B	新型コロナウイルス感染症も落ち着き、受診者数は増加している。地域の休日夜間診療を担う主施設ということもあり、体制を維持させていかなければならない。	
担当課	健康推進課	嘱託職員数	0						
	市単独事業	臨時職員数	0						
■条例・規則	泉州南部初期急病センター条例	歳出(千円)		その他 人件費総額	94,302 3,341				
根拠法令等		一般財源	-11,176			妥当性	該当なし		
		減価償却費	0						
		事業費	79,785			受益者負担	A		
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	83,126			緊急性	A	事務事業実施内容	
実施手法	市直営	市民1人当りコスト(円)	837					H29年6月に木曜日の午後8時～午後11時の小児科診療を開始する。診療日は、木曜日・土曜日・日祝日・年末年始(12/30～1/3)となる。診療体制は医師2名(内科1名、小児科1名)、木曜日は小児科1名)、薬剤師2名、看護師3名で実施(繁忙時期は医師3名、看護師4名体制としている)	
対象		活動指標	R6実績			公的関与	B		
不特定の市民	対象数	診療日数	172.0						
泉佐野・熊取・田尻・泉南・阪南・岬町の住民						実施主体・委託化	C		
事業の内容									
泉州南部初期急病センターの運営。(泉佐野市、熊取町、田尻町・泉南市・阪南市・岬町が共同して運営している休日等における急病患者への応急処置のための診療所) 診療科目: 内科、小児科						他の事務事業との関連	A		
診療時間 土曜日: 18:00から21:00 日曜日・祝日・年末年始: 10:00から17:00 木曜日: 20:00から23:00 (小児科のみ)									
事業の目的		成果指標	R6実績			透明性	A		
休日における急病患者に対する応急処置を行い、疾病等から住民の健康を守ることを目的とする。		受診者数	6,882.0						
						財政健全化計画	D		
						財政健全化の取組	該当なし		
		コスト指標	R6実績			改革改善プラン達成度	該当なし		
		受診者1人あたりのコスト	12,078.0						

事務事業コード	030504020	予算コード	01083080	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	初期急病センター施設管理事業	正規職員数	0.3	国庫支出金 府支出金 市債	0 0 0	有効性 効率性	A B	施設はH26年度に新設し大きな問題はないが、備品の故障や施設修理などが少しずつ出てきており、患者が安心して受診できる環境を維持しなければならない。	
担当課	健康推進課	嘱託職員数	0						
	市単独事業	臨時職員数	0						
■条例・規則	泉州南部初期急病センター条例	歳出(千円)		その他 人件費総額	15 2,505				
根拠法令等		一般財源	8,070			妥当性	B		
		減価償却費	0						
		事業費	5,580			受益者負担	A		
事務事業類型	施設管理事業	フルコスト(千円)	8,085			緊急性	C	事務事業実施内容	
実施手法	一部委託	市民1人当りコスト(円)	81					土・日・木曜日の日数により増減する。	
対象		活動指標	R6実績			公的関与	B		
不特定の市民	対象数	診療日数	172.0						
事業の内容						実施主体・委託化	C		
休日等診療施設(泉州南部初期急病センター: 496m ² 平成26年竣工、建築価格122,451千円)の維持・管理						他の事務事業との関連	A		
		成果指標	R6実績			透明性	B		
		受診者数	6,882.0						
						財政健全化計画	D		
						財政健全化の取組	該当なし		
		コスト指標	R6実績			改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的		受診者1人あたりの維持管理コスト	1,175.0						
休日診療施設の維持管理を目的としている。									